



私たちの 救命救急

目の前で人が倒れた場面に遭遇したとき、私たちはどのような行動ができるでしょうか。119番通報をする、近くにいる人に協力を求める、救命処置を行う…。

携帯電話を持っていれば、119番通報をして救急車を呼ぶことができます。しかし、救命処置は、知識や経験なければ実践することができません。ましてや、急を要するときでは瞬時に正しい判断で行なうことが難しいものです。

今月号では、私たちが実践する救命救急を取り上げます。大切な人を守る、あなたが命を救うヒーローに。



まずは、冷静に・正確に119番1分1秒を争うような急病患者を救うためには、いち早く119番通報をする必要があります。その時は、「落ち着いて・正確に」要件を伝えましょう。

救急車の適正利用が叫ばれる近年は、救急車を呼ぶか迷うという場合もあります。そんな時は「救急医療電話相談(119番#7119)」で判断を仰ぐのも一つの手です。また、消防組合では「救急相談ダイヤル(119番#9987)」も設置しているのでこちらもご利用ください。



西入間広域消防組合
波田救急救命士

「3分以内」の救命処置 力ギを握るのは地域住民

西入間広域消防組合の救急車の現場到着まで平均10・3分。山中など進入が困難な場所への出動も多いこともあり、この時間を縮めることは容易ではありません。

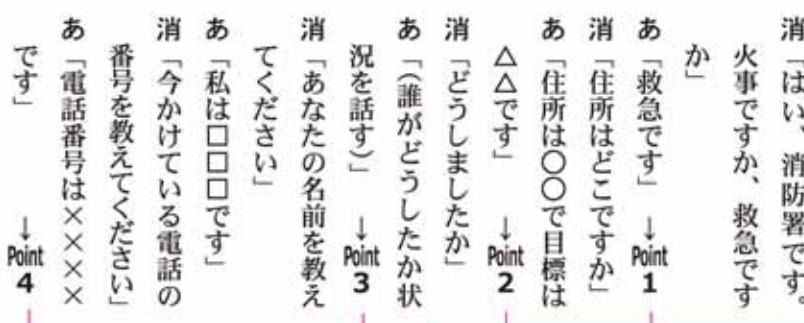
一方、心停止の状態になり脳に酸素が行き渡らなくなると、脳細胞は3分で死に至るといわれています。はどうするのか。今回、西入間広域消防組合救急救命士の波田さんから話を伺いました。

講習で応急処置を身につけよう

大切な人が倒れた時、何もできなかつた…。そうならないために、消防署では定期的に一般の人向けの救命講習を開催しています。講習では、人形と訓練用のAEDを用いて応急処置の体験ができます。いざという時、適切かつ迅速な対応ができるよう備えておくことが大切です。

救急車が到着するまでの応急処置

急病人の近くにいる人が、適切な応急処置を行い、到着した救急隊、そして医療機関へとスムーズに引き渡すことができれば、その人を救える確率が高まります。応急処置は決して難しいことではありません。AEDも一度使ったことがある人なら素早い操作が可能だと思います。しかし、経験のない人だと現場の雰囲気にのまれ混乱してしまい、迅速な対応が取れないかもしれません。

**Point 3. 急病人の状態**

性別や年齢、意識の有無、目が開いているかなどを聞かれます。冷静に応答しましょう。

Point 4. あなたの名前・連絡先

現場の正確な位置がわからない時、あなたともう一度連絡を取る必要があります。

4つのポイント

119番通報時のポイントは全部で4つ。緊急時だからこそ落ち着いて正確に伝えましょう。

119番通報シミュレーション



消：消防署

あ：あなた

Point 1. 救急であること

119番通報の内容は大きく「火事」と「救急」に分けられます。まずは「救急」であることを伝えましょう。

Point 2. 場所

救急車も場所が分からなければ駆けつけられません。住所が分からない時は近くの目標となるものを伝えましょう。



突然の高熱や胸の激痛、半身のしびれなどが見られたらすぐに119番通報を。お子さんの唇が紫色で呼吸が弱い、手足の硬直、けいれん、蕁麻疹などの症状がある場合も、重大な病気やけがの可能性があるのですぐに119番通報してください。

**3. 呼吸の確認**

胸、腹部の動きを見て呼吸の有無を確認。

2. 助けを呼ぶ

周囲の人を集め、119番通報とAEDの手配をする。

1. 意識を調べる

肩をたたきながら大声で呼びかけ反応を確認する。

↓ 呼吸がない場合…

**4. 胸骨圧迫**

両手を組み、胸の真ん中を圧迫する（深さは成人で約5センチ、小児は胸の厚さの約3分の1）。

**5. 人工呼吸**

傷病者の気道を確保したまま鼻をつまみ、空気が漏れないように1回秒かけて2回息を吹き込む。

救命処置の簡単メソッド



西入間広域消防組合

救急係 宮下救急隊員

**6. AEDの装着・通電**

AEDを装着。アナウンスで電気ショックが必要なときは、ボタンを押して通電する。